



MEIJI
UNIVERSITY

第30回

明治大学社会科学研究所シンポジウム

食料・農業のTPP戦略

日米韓の対応

2016年11月12日[土] 13:00~16:20

受講料
無料

明治大学駿河台キャンパス 【会場変更】リバティタワー1階 リバティホール

第一部 13:00~13:30 基調報告 「食料・農業と日本のTPP戦略」

作山 巧 [明治大学農学部准教授]

「食料・農業と米国の戦略」

山田 優 [明治大学農学部兼任講師]

第二部 13:30~14:45 個別報告 「食料・農業と韓国の戦略」

金 ゼンマ [明治大学国際日本学部専任講師]

「北海道農業の対応」

東山 寛 [北海道大学大学院農学研究院准教授]

第三部 15:00~16:20 パネルディスカッション

「日本における食と農の展望を考える」 司会: 小田切 徳美 [明治大学農学部教授]

パネリスト: 作山 巧 / 東山 寛 / 榊田 みどり [明治大学農学部客員教授]

お問い合わせ

明治大学社会科学研究所

TEL: 03-3296-4135

http://www.meiji.ac.jp/sha_ken/

2015年に交渉が妥結したTPP（環太平洋パートナーシップ）協定の帰趨は、アメリカ大統領選挙の行方とも絡んで不透明な面もある。しかし、発効した場合の影響の大きさは衆目の一致するところであり、日本を含む参加国での批准が進められている現在、今一度議論する価値がある。TPPを巡って日本で最も議論を呼んだのは、食料・農業への影響であり、賛否を予断した感情的な議論が先行した。特に、TPPを「黒船」のように捉える受け身の姿勢が目立ち、各国政府がTPPに込めた戦略的な狙いや食料・農業分野での対応策はほとんど明らかにされていない。このため本シンポジウムでは、TPP参加協議にも従事した本所員の基調報告と、TPPを牽引する農業大国の米国、TPPにも参加を表明している韓国、TPPの影響が最も大きいとされる北海道を対象とした個別報告を通じて、食料・農業分野における日米韓のTPP戦略を明らかにする。

講師プロフィール

Profile



作山 巧

SAKUYAMA Takumi

明治大学 農学部准教授

1965年岩手県生まれ。青山学院大学博士(国際経済学)。1988年に農林水産省に入省し、外務省、国連食糧農業機関、国際交渉官兼内閣官房企画官(TPP担当)等を経て、2013年から現職。専門は貿易政策論。近著は『日本のTPP交渉参加の真実—その政策過程の解明』文真堂、2015年。



山田 優

YAMADA Masaru

明治大学 農学部兼任講師

1955年千葉県生まれ。東京農工大学博士(農学)。1977年に日本農業新聞に入社し、フロリダ大学・テキサスA&M大学客員研究員、同社編集委員、明治大学農学部客員教授等を経て、2013年から現職。近著は『亡国の密約—TPPはなぜ歪められたのか』(共著)新潮社、2016年。



金 ゼンマ

KIM Jemma

明治大学 国際日本学部専任講師

韓国生まれ。一橋大学博士(法学)。早稲田大学アジア太平洋研究センター助教、関西外国語大学専任講師を経て、2014年から現職。専門は国際政治経済学。近著は『日本の通商政策転換の政治経済学—FTA/TPPと国内政治』有信堂、2016年。



東山 寛

HIGASHIYAMA Kan

北海道大学 大学院農学研究院准教授

1967年北海道生まれ。北海道大学博士(農学)。秋田県立農業短期大学、秋田県立大学生物資源科学部、北海道大学大学院農学研究院専任講師を経て、2016年から現職。専門は農業経済学。近著は『TPPと農林業・国民生活』(分担執筆)筑波書房、2016年。



榊田 みどり

SAKAKIDA Midori

明治大学 農学部客員教授

1960年秋田県生まれ。東京大学修士(学術)。1987年に生活クラブ生協連合会に入会し、1990年の退会後に農業ジャーナリスト。2016年から現職。近著は『農村女性と再生可能エネルギー』(共著)筑波書房、2015年。



小田切 徳美 ODAGIRI Tokumi

明治大学 農学部教授

神奈川県生まれ。東京大学農学部卒業後、1985年東京大学大学院農学系研究科農業経済学専攻修士課程修了、1988年同博士課程単位取得満期退学。1994年東京大学博士(農学)。1995年東京大学大学院助教を経て、2006年より現職。近著は『農山村は消滅しない』岩波新書、2014年。

TPPへの戦略や対応は、国や地域により大きく異なる。そうした中で我が国の食と農にはどのような方向が考えられるのであろうか。パネルディスカッションでは、基調報告・個別報告の報告者と国内における食と農の提携運動にかかわる研究を進めるコメンテーターを加えた討論により、その展望を探る。参加者も交えて、できるだけ具体的な姿を論じる。

アクセスMAP



- JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩約5分